

# 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

## 目的

空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化ストーリーである「炭鉄港」が2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられる中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちにむけた事業を展開するなど、地域特有の資産を活かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

## これまでの主な取組・成果

- 空知管内と鹿児島県の中中学生との相互交流事業の実施 [振興局]



▲R3年中学生のオンライン交流

概要：炭鉄港の端緒となった鹿児島において、美唄中と鹿児島市立清水中との現地交流及びオンライン交流を実施。

- 各地域のイベントでの炭鉄港PR [振興局・市町]



▲地域遺産PRイベント

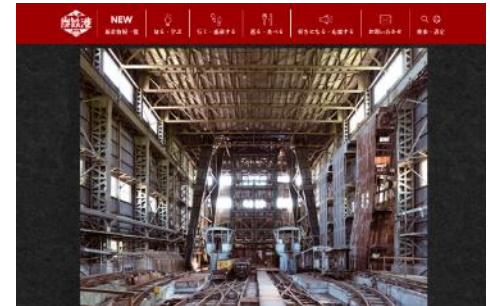
概要：札幌駅前地下歩行空間広場で、パンフレットの配布や展示物を見ながらのクイズラリーを実施。



▲R3年度日本遺産サミット

概要：日本遺産PRブースに出展し、道外・国外に向けて炭鉄港の歴史や文化を発信し、観光客の誘致を推進。

- ポータルサイトの構築 [振興局・市町]



▲ポータルサイト

概要：「炭鉄港」について、関連する情報をワンストップで得られる「見て、使える」webサイトを整備し、ファン獲得を図る。

### 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
炭鉄港推進協議会構成市町の観光入込客数	7,250千人 (R2)	集計中 (R3)	7,468千人 (R7)	—

## R4年度の主な取組

- ポータルサイト「炭鉄港」や広報誌などを活用した啓発活動 [炭鉄港推進協議会]
- 炭鉄港地域の教員・中学生による相互交流事業の実施 [振興局]
- 日本遺産「炭鉄港」を支えた労働者の栄養源となった食文化「炭鉄港めし」にかかるPR事業の実施 [炭鉄港推進協議会]

# アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト

## 目的

ウポポイの開設により、国内外からの観光客の増加が見込まれることから、胆振・日高地域が連携し、ウポポイの開設効果を最大限に活かしていく。

## これまでの主な取組・成果

### ■ウポポイ開設を契機とする誘客及び広域周遊促進 [市町]



◀ 台湾で開催された日本の観光物産博の出席  
 期 間：①令和3年12月4日～5日  
 ②令和3年12月23日～29日  
 場 所：①台北駅 ②裕毛屋  
 概 要：台北駅及びスーパーマーケット裕毛屋で開催された、日本の観光物産博にオンラインで参加し、ウポポイ開設の周知による認知度向上や地域への来訪促進を実施。  
 台北駅来場者数：38,544人

### ■パンフレット作成・情報発信 [振興局]



◀ いぶりアイヌ・ウポポイ応援製品  
 期 間：令和3年度  
 概 要：胆振管内の事業者による、アイヌ文化振興に寄与する製品や、ウポポイ（民族共生象徴空間）と連携している製品を「アイヌウポポイ 応援製品」としてPRする。

### ■いぶり五大遺産を活用した教育旅行誘致 [振興局]



◀ 教育旅行の誘致in岩手  
 期 間：令和3年12月7日～9日  
 場 所：盛岡市・釜石市 等  
 概 要：旅行会社や釜石市等の中学校を対象に、いぶり五大遺産の魅力発信及びいぶり地域の中高生との交流事業について、プロモーション活動を実施。

### ■オンラインイベントの実施 [振興局]



◀ ひだかSpring Premium  
 期 間：令和3年5月7日～31日  
 場 所：日高振興局  
 概 要：春の日高をPRするため日高の「春ウニ」や「サクラ」などを活用し、都市圏の方々に「日高の春」をPRするキャンペーンを実施。

## 評価指標 (KPI)

胆振・日高地域への観光入込客数

基準値(基準年)

1,040万人(R2)

実績値(実績年)

1,070万人(R3)

目標値(目標年)

1,994万人(R7)

進捗率

53.7%

## R4年度の主な取組

- 北海道いぶり五大遺産ポータルサイトの作成による魅力発信 [振興局]
- 振興局職員向けアイヌ文化ウポポイ研修会の実施 [振興局]
- 「北海道いぶり五大遺産」を前面に出して東北地方(岩手・宮城)で教育旅行の誘致活動を実施 [市町・振興局]



# 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト

## 目的

道内ジオパーク間のネットワークの発展に向け、ジオパークの魅力や学術的価値の積極的な発信、環境教育や防災教育の充実を図るとともに、観光振興や地域振興に繋がる取組を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■郵便ポストラッピングの実施 [市町]



#### ◀ 郵便ポストラッピング

期 間：令和3年度  
場 所：伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町  
概 要：ジオパークエリアであることを視覚的に伝えるものとして、郵便局と連携し1市3町のポストのラッピングと郵便配送車両へのロゴステッカー掲示を実施。  
ラッピングポスト数：13基

### ■各種PR資材の作成、情報発信 [振興局]



#### ◀ ポロシャツ作成（とかち鹿追ジオパーク）

期 間：令和3年度  
概 要：道内ジオパークPRパンフ等の作成  
各種イベント等を活用した情報発信  
主な取組：三笠ジオパークPR用パンフ・グッズの作成（空知）、アポイ岳ジオパークにおけるジオツーリズムの推進（日高）、ジオパークネットワーク連絡会議等への参加（上川）、とかち鹿追ジオパーク公式グッズの作成（十勝）

### ■洞爺湖有珠山ジオパークスマホdeスタンプラリーの実施 [市町]



#### ◀ スマホdeスタンプラリー

期 間：令和3年10月1日～11月10日  
場 所：伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町  
概 要：「北海道と北東北の縄文遺跡群」のユネスコ世界文化遺産登録を記念し、2つのユネスコ遺産をめぐるスタンプラリーを実施。  
参加人数：340人

### ■北海道スマホスタンプラリーの実施 [振興局]



#### ◀ 北海道スマホスタンプラリー

期 間：令和3年4月23日～令和4年3月31日  
場 所：道内のサービスエリア、道の駅  
概 要：NEXCO東日本との連携による「北海道スマホスタンプラリー」への「洞爺湖有珠山ジオパーク賞」を設定し、洞爺湖有珠山ジオパーク関連商品を提供。  
参加人数：1万4000人以上

## 評価指標 (KPI)

ジオパーク構成市町への観光入込客数

基準値(基準年)

1,017万人(R2)

実績値(実績年)

979万人(R3)

目標値(目標年)

2,130万人(R7)

進捗率

46.0%

## R4年度の主な取組

■北海道いぶり五大遺産ポータルサイトの作成による魅力発信 [振興局]

■北海道いぶり五大遺産関係団体の連携を図るための情報交換会の開催 [振興局]

■道外校の教育旅行による来道にあわせて、防災学習(火山との共生)をテーマに学校間交流を実施 [市町、振興局]



# 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

## 目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

## これまでの主な取組・成果

### ●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

#### ■「北の縄文スタンプラリー」の実施

〔北海道、道南ブロック博物館施設等連絡協議会、教育委員会、民間〕

期 間：令和3年7月17日～10月31日

参加施設：縄文関連施設全30館

概 要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の道内初となる世界文化遺産登録を記念し、道内の縄文関連展示施設を巡るスタンプラリーを開催。振興局管内全施設訪問者は、渡島：155名、檜山：170名、石狩：155名、胆振：136名。



#### ■縄文関連商品を集めたフェアの開催 [振興局]

##### ・「北海道どさんこプラザ湯川店」1周年記念フェア

期 間：令和3年7月29日～8月1日

概 要：どさんこプラザ湯川店オープン1周年と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を記念したフェアを開催。縄文スイーツや縄文グッズを販売したほか、国宝中空土偶のパネル展示等PRコーナーを設置し、普及啓発を実施。



### ●遺産を活用した誘客促進

#### ■公共機関等へのポスター掲示や縄文パネル展の実施 [振興局]

##### ・北の縄文パネル展

期 間：令和3年4月～令和4年3月

場 所：函館市内を中心に8カ所

概 要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び縄文文化の普及啓発のため、商業施設や公共施設等でパネル展を開催。



##### ・横断幕の掲出（新函館北斗駅等）

#### ■縄文文化の活用 [振興局]

##### ・渡島の縄文ガイド

配布場所：渡島合同庁舎、管内縄文関連施設

概 要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び渡島管内の縄文文化関連展示施設の魅力を発信するとともに、管内の周遊促進や縄文文化の一層の理解促進を図るため「渡島の縄文ガイド」を制作。



### 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
渡島管内への観光入込客数	688万人 (R2)	774万人 (R3)	1,371万人 (R6)	56.5%

## R4年度の主な取組

■「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録1周年記念事業の実施 [振興局、教育委員会他]

■地域資源を活用した縄文関連新商品の開発支援 [振興局]

■周遊パンフレットやWebページの作成など誘客に繋がる情報発信 [振興局]

# 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト

## 目的

管内産業の持続的な発展に向けて、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」に示されるICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していく。併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

- ICT等新たな技術の活用による省力化やコスト削減等、技術実証と普及の取組を推進 [振興局]



### ▲ 空知スマートアグリシンポジウム2021

開催日：令和3年12月8日  
 場 所：岩見沢市  
 概 要：スマート農業に関する基調講演や滝川市・美唄市・新十津川町の取組紹介、生産者によるパネルディスカッションを実施。

- 空知ワインアカデミー栽培基礎コース実地研修会 [振興局]



◀ 空知ワインアカデミー  
 開催日：令和3年9月2日  
 場 所：宝水ワイナリー（岩見沢市宝水町）からオンラインで配信  
 概 要：栽培実績のある宝水ワイナリーの収穫前を視察し、品種や土壌、天候に応じた栽培・収穫管理などを学ぶ場とした。

- 「そらちの花」のPR強化や魅力向上に向けた取組の実施 [振興局]



◀ 花あるあるプロジェクト  
 開催日：令和3年7月28日  
 場 所：イオン滝川店  
 概 要：子どもたちによる花束づくりを実施し、お客さんに手渡して空知の花をPRした。

## 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,600ha (R3)	113,600ha (R7)	100.0%
新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	59.5% (R3)	63.9% (R6)	93.1%

## R4年度の主な取組

- ICTの活用にもむけた実証実験などによるスマート農業の普及・促進 [振興局]
- 地域おこし協力隊の導入 [市町]
- UIJターン新規就業支援事業の実施 [市町]

# 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト

## 目的

空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有し、近年では、美しい田園風景を活かしたサイクルツーリズムなども実施されている。こうした地域資源を引き続き活用して、魅力の積極的な発信や食と観光の振興を図り、北海道ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進する。

## これまでの主な取組・成果

- そらち応援大使（鈴木貴之氏）やそらち食の応援アンバサダー（佐藤麻美氏）と連携し、空知の「食」の魅力を紹介するプロモーション [振興局・市町]

時期：秋～冬にかけて動画製作、12月からweb (youtube) 上で公開

概要：空知管内全24市町の食材（農産物、加工品）が集まるグランピングでそらち応援大使・鈴木貴之氏と仲間達が「美味しい」「楽しい」を分け合うシーンに食材の生産現場の映像を織り交ぜ、空知の多彩な「食の魅力」を紹介する動画をロング版/ショート版の2種類作成。

再生回数はショート版約10万回、ロング版約400回（2022年6月現在）



- 南空知カフェさんぽスタンプラリー [振興局]

概要：札幌圏に近いという地理的優位性を活かし、管内に多く立地するカフェやファームレストランを紹介する冊子を作成。掲載店舗を巡るキャンペーンを行い、マイクロツーリズムの推進による誘客促進を実施。



- キャンプ・de・ジビエ [振興局・市町]

開催日：令和3年10月2日・9日

場所：滝川市（2日）・浦臼町（9日）

概要：管内初の北海道認証エゾシカ処理施設のある浦臼町と協力し、札幌のイタリアンシェフ考案のエゾシカ肉料理や空知ワインを無償提供。



### 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	10,101人 (R3)	14,500人 (R7)	69.7%
管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	852万人 (R3)	1,278万人 (R6)	66.6%
移住相談件数	574件 (R2)	777件 (R3)	687件 (R7)	113.1%

## R4年度の主な取組

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [北海道空知地域創生協議会]
- 動画やSNS、市町ウェブサイト等を活用した移住定住情報の発信 [市町]
- ガイド付きサイクリングモニターツアーの実施やデイキャンプ教室の開催 [振興局]

# 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

## 目的

道内の中でも、特に厳しい人口減少が続く空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めるほか、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成を図りながら次世代リーダーを育成するとともに、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する一体的な情報発信などによる移住・定住対策や、ワーケーションなど多様で柔軟な働き方の受入体制の確保など、関係人口の創出・拡大を図る。

## これまでの主な取組・成果

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]

- 新規高卒者の地元就職の促進 [振興局]

そらち・デ・ビュー 概要：ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」（毎週木曜日に更新）や各種SNSにより、空知地域の様々な情報や魅力を発信するとともに、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。サイトのページビュー数は約42万回（2021年度累計）



▲地元就職応援フェア「地元企業合同説明会」

開催日：令和3年7月16日・21日  
 場所：滝川市（16日）・岩見沢市（21日）  
 概要：高校生と就職指導教員を対象に、説明会を実施。地元企業のPR機会とし就職定着を図った。

【ワーケーション関連記事の発信 9件】

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率（再掲）	60.9% (R2)	59.5% (R3)	63.9% (R6)	93.1%
移住相談件数（再掲）	574件 (R2)	777件 (R3)	687件 (R7)	113.1%
認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所 (R3)	22カ所 (R7)	90.9%

## R4年度の主な取組

- 体験住宅の整備・お試し暮らし事業の実施 [市町]
- 地元企業の合同説明会の開催や、企業見学・インターンシップの実施 [振興局・市町]
- 生活支援体制整備事業における協議体の設置および生活コーディネーターの配置 [市町]

# 石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト

## 目的

若者の道外への人口流出を抑制するため、教育機関や市町村、地元企業等との連携により、新規学卒者等の地元就職・地元定着の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組む。首都圏などの道外から人を呼び込むため、石狩地域で生活する魅力の発信や新たな生活様式に対応した働き方を推進しながら、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ●若者の地元定着・就業に向けた取組 [振興局、市町村、民間]



#### ■大学生の地域活動支援（振興局）

- ▶連携大学：北海学園大学、札幌学院大学、札幌大谷大学
- ▶概要：学生の地域への理解促進や愛着醸成を図るため、大学との連携により学生の地域活動を支援



#### ■市内4大学と連携したインターンシップや地域活動（江別市）

- ▶参加大学：酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学
- ▶概要：学生地域定着推進広域連携協議会に参画している自治体及び企業等でのインターンシップや地域活動を実施

### ●地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出 [振興局、市町村、民間]



#### ■「えにわマルシェ」の開催（恵庭市）

- ▶開催日：令和3年4月29日～10月31日
- ▶場所：道と川の駅花ロードえにわ、フレスポ恵み野
- ▶概要：市民のためのつながるマルシェを目的に、ハンドメイド作品や恵庭ならではのフードを販売するマルシェを開催

### ●道外からのU・I・Jターンの促進 [振興局、市町村、民間]



#### ■ワーケーションの受入環境整備（千歳市）

- ▶概要：ワーケーションや企業や市民のテレワークを推進するため、JR南千歳駅前に「テレワークスペース」整備
- ▶実績：544人（令和4年1月から3月の「テレワークスペース」利用人数）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4%（R1）	34.6%（R3）	前年度より改善	—
石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	16人（R2）	R4年11月頃公表予定	延べ80人増（R3～R7）	—
若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人（R1）	2,400人（R3）	3,139人（R6）	130.8%

## R4年度の主な取組

- 管内大学と連携した大学生のインターンシップや地域活動による若者の地元定着の促進 [市町村、民間、振興局]
- セミナーや勉強会による農商工連携や6次産業化の推進 [市町村、民間、振興局]
- 移住フェア参加を通じた、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進 [市町村、民間、振興局]



# 石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト

## 目的

道内をはじめとした国内外の交流人口や関係人口の拡大を図るため、都市と自然とを十分に満喫することができる石狩地域の特性を活かし、地域や観光事業者等との連携により魅力ある観光情報やさらなる発展が期待される地域の魅力を発信しながら、観光客を石狩地域へ誘引する取組を進めるとともに、おもてなし環境の整備やワーケーションなどを取り入れた新たな観光メニュー開発や地域の食のブランドづくりを推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ●石狩観光スタイルの推進に向けた魅力発信 [振興局、市町村、民間]



#### ■観光客を管内へ誘引するプラスワン観光の推進 (振興局)

▶概要：令和4年2月に「台湾における石狩地域の食と観光プロモーション事業」として台中市において「いしかりフェア」を開催するとともに、台湾のインフルエンサーと連携したファンミーティングである「石狩セミナー」を行い、石狩の食と観光の魅力をPRした。



#### ■「しのつ湖」を活かした冬の観光事業の推進 (新篠津村)

▶概要：  
 ・犬ぞりレース…R4年3月13日に実施、来場者約200人。しのつ湖周辺の道の駅、温泉施設を中心に冬期間の観光メニュー、アクティビティを展開、集客を図った。  
 ・わかさぎ釣り…解禁期間 R4年1月8日～3月21日(73日間)、利用者のべ約12,000人  
 ・しんしのつランタンまつり…R4年2月26日に実施、来場者約600人

### ●様々な観光客に向けたおもてなし環境の整備・充実 [振興局、市町村、民間]

#### ■多言語のパンフレットの配置 (各市町村)

### ●新たな観光メニューの開発や地域の食のブランド化の推進と魅力発掘 [市町村、民間、振興局]



#### ■赤毛米を活用した食資産の開発に参画 (北広島市)

▶概要：北広島商工会が中心となり「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」を設立。市内店舗と協力のもと、赤毛種の米粉を使用した商品を作り、PR活動を行っている

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
観光入込客数	1,336万人 (R2)	1,577万人 (R3)	3,100万人 (R7)	50.9%
農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数	12件 (R2)	8件 (R3) (累計20件)	累計20件以上 (R6)	100.0%

## R4年度の主な取組

- 国内での積極的なプロモーション活動やSNSの活用などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進 [振興局]
- ウェブサイトやSNSによる観光情報の発信 [市町村、民間、振興局]
- 多言語化での地域のおもてなし環境の整備 [市町村、民間、振興局]

# 安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト

## 目的

少子化などによる地域活力の低下に歯止めをかけるため、都市地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、地域で出産・子育てを支え見守る取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施する。

## これまでの主な取組・成果

### ● 出産・子育てを地域で支える環境づくり [市町村、民間、振興局]

#### ■ 地域子育て支援拠点ネットワーク会議の開催 (振興局)

- ▶開催日：令和3年8月5日
- ▶参加者：20名
- ▶概要：
  - ・各地域子育て支援拠点の実施状況報告
  - ・石狩地域子育て支援拠点連携事業の実施に係るアンケート調査結果報告及び連携事業概要説明



#### ■ プレママ・プレパパの育児体験 (訪問型、来所型) (江別市)

- ▶参加人数：訪問型：15組程度/年、来所型：60組程度/年
- ▶概要：妊婦やその家族を対象に、赤ちゃん人形を使用したお風呂やオムツ交換などの育児手技の体験を実施。自宅で実施する訪問型と、土日(年4回)平日(年12回)保健センターで実施する来所型を選択することができる

### ● 働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成 [市町村、民間、振興局]



#### ■ 中小企業等に対するテレワーク導入費用の補助を実施 (札幌市)

- ▶概要：女性をはじめとする市民の有業率向上や働きやすい労働環境整備の促進を目的に、セミナー開催や導入費用補助によるテレワークの導入・定着を支援
- ▶実績：セミナー 27回開催  
参加人数 289人(オンデマンド視聴含む)  
補助申請件数 464件、交付決定件数 411件



#### ■ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取組む企業を支援 (環境整備助成金) (北広島市)

- ▶概要：ワーク・ライフ・バランスの取組みを実施する市内の中小企業等の事業主に対し、費用の一部を助成
- ▶実績：1件 (H30)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	36拠点 (R3)	38拠点 (R6)	94.7%
北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	139企業 (R3)	204企業 (R7)	68.1%

## R4年度の主な取組

- ファミリー・サポート・センター事業の実施 [市町村、民間、振興局]
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、意識啓発セミナーを開催 [市町村、民間、振興局]
- アプリを利用した子育て支援等の情報発信 [市町村、民間、振興局]

# 自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト

## 目的

地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、脱炭素（ゼロカーボン）の取組促進、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いまちづくりに取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ●豊かな自然環境を守り育てる取組の推進 [振興局、市町村、民間]

#### ■管内エゾシカ・ヒグマ対策連絡協議会の開催 (振興局)

- ▶ 開催日：① R 3.7.21  
② R 4.3.24
- ▶ 概要：①ヒグマ市街地出没時の対応に関する情報共有  
②エゾシカ、ヒグマ及びアライグマ対策に関する情報共有  
(書面開催)



#### ■石狩市厚田マイクログリッドシステムによる再エネの地産地活 (石狩市)

- ▶ 概要：太陽光とグリーン水素を基軸としたマイクログリッドを厚田地区に構築することで地域の低炭素化と防災力向上の実現に取り組む



#### ■木質バイオマス等再生可能エネルギーの導入に向けた調査研究 (当別町)

- ▶ 概要：令和元年度に北海道立総合研究機構と戦略研究の連携協定を結んでおり、再生可能エネルギーの供給と省エネルギー技術の社会実装をテーマに研究している

### ●誰もが安心して暮らせる社会の形成 [振興局、市町村、民間]

#### ■不法投棄監視パトロール (振興局、各市町村)

### ●防災対策の強化による安全なまちづくり [市町村、民間、振興局]

#### ■住民の防災意識向上のためのセミナー開催、防災教育セミナー開催 (振興局、札幌市)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	13回 (R3)	17回 (R7)	76.5%
石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	1,736/1,800 (R3)	毎年度設定	96.4%
石狩地域の自主防災組織 活動カバー率	61.6% (R2) (全国平均値 84.3%)	65.4% (R3) (全国平均値 84.4%)	全国平均値	77.5%
石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	97団体 (R3)	150団体 (R7)	64.7%

## R 4 年度の主な取組

- ヒグマの防除・駆除 [市町村、民間、振興局]
- 脱炭素（ゼロカーボン）の取組への関心と理解を深めることを目的とした普及啓発を実施 [市町村、民間、振興局]
- 関係機関との情報共有会議等の場を通して、市町村並びに防災関係機関との連携強化を推進 [市町村、民間、振興局]

# 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

## 目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■ ShiriBeshi商談会の開催 [振興局]

概要：後志管内の1次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催

日時：令和3年11月5日 ・場所：ヒルトンニセコヴィレッジ

参加者：出展者17社 30名 ・来場者：23社 70名

### ■ ShiriBeshiワインアカデミー [振興局・経済部食産業振興課]

後志管内のワイン関係者向けに、栽培や醸造等の技術向上を目的として管内のワイナリー、ヴィンヤードで現地研修を実施

・日時：令和3年8月6日 ・出席者：管内ワイナリーやヴィンヤード関係者9名 ・講師：北海道大学、北海道ワイン(株)

### ■ シャインマスカットの長期貯蔵技術の確立 [関係機関、振興局]

概要：高品質安定生産に向け現地研修会及び現地巡回を実施し、栽培方法を改善することで生産量が増加したほか、専用冷蔵庫を使用することで保存期間が延び、市場価値が高まるクリスマスや正月に出荷が可能となった。

### ■ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進（民間施設における地域材利用推進の取組） [振興局]

概要：地域材利用の理解とリゾート施設建設における後志産木材の利用推進を図るため、設計事務所やコンサルタント担当者を対象とした地域材利用施設の見学会（バスツアー）を実施し、26名が参加した。

開催日：令和3年10月20日

場所：倶知安町（楽水山、パノラマニセコ）、ニセコ町（ニセコ蒸溜所）

### ■ 「漁業就業体験事業」を実施 [町、民間、振興局]

概要：後志管内の漁業者が漁業に関心を持つ道内外の人材を受け入れ、短期間（12月～1月）の就業体験等を実施した。



ShiriBeshi商談会の様子

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新品種農産物（シャインマスカット）出荷量 【kg】	2,520 (R2)	3,077 (R3)	6,000 (R6)	51.3%
新規就農者数 【人】	34 (R1)	集計中	34 (R7)	-
管内製材・木材チップ工場における原木消費量 【m <sup>3</sup> 】	69,000 (R2)	69,852 (R3)	77,000 (R7)	90.7%
新規漁業就業者数 【人】	7 (R2)	6 (R3)	9 (R7)	66.7%

## R4年度の主な取組

■ しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト（ポータルサイト開設、生産者セミナー、商談会の開催） [振興局]

■ シャインマスカットの販路拡大に向けた、リゾート関係者へのPR活動。新規就農者向け交流会・意見交換会の開催 [振興局]

■ 高校生向け林業体験イベント、北森カレッジ学校説明会の実施及び北森カレッジ在校生向け後志PRイベントの開催 [振興局]

■ 道内外の人材向けの「漁業就業体験事業」を実施 [町、民間、振興局]

# 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

## 目的

国内客の呼び込みの拡大やポストコロナの観光需要回復を見据えたインバウンド受入体制の整備を推進するとともに、アドベンチャータラベル等の新たな観光資源の発掘・磨き上げや、地域内で作られる豊かな食資源を活かしたガストロノミーツーリズム等による広域観光や滞在・通年型観光の推進に取り組み、観光客が安心して楽しむことができる持続可能な観光地を目指す。

## これまでの主な取組・成果

- MTB初心者体験会 & サイクルセミナーの開催 [振興局・後志観光連盟]  
MTB（マウンテンバイク）やサイクリングを後志地域の有力なグリーンシーズンのコンテンツとしていくために、「MTB初心者体験会」及び「MTB & サイクルセミナー」を開催  
(MTB初心者体験会) ・日時：令和3年10月7日 ・場所：コロボックルMTBパーク ・参加者：12名  
(サイクルセミナー) ・日時：令和3年11月18日 ・場所：後志総合振興局 ・参加者：58名
- withコロナ時代のインバウンド観光セミナーの開催 [振興局・後志観光連盟・北海道観光振興機構]  
withコロナ、afterコロナ時代のインバウンド観光客受入に対応するためセミナーを開催  
・日時：令和3年10月21日 ・場所：後志総合振興局 ・参加者：17名
- 北海道教育旅行説明会・商談会への参加 [振興局・後志観光連盟・北海道観光振興機構]  
教育旅行の誘致に向け、関西圏の高校、旅行会社に対して後志地域のPRやモデルルートの説明を行うとともに、教育旅行事情のヒアリングを実施  
・日時：令和3年12月7日 ・場所：A P大阪茶屋町  
・後志管内参加者：(株)ニセコリゾート観光協会、ヒルトンニセコビレッジ



MTB初心者体験会の様子



北海道教育旅行説明会の様子

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
観光入込客数 【万人】	2,142 (R1)	1,034 (R3)	2,500 (R7)	41.4%

## R4年度の主な取組

- 来年度のATWS（アドベンチャータラベル・ワールドサミット）開催を見据えたMTBなどアドベンチャータラベルの観光資源の磨き上げやインバウンド誘客に向けたプロモーションの実施
- MICE・教育旅行の誘致に向けたセールスコールやPRツールの作成
- 北海道新幹線延伸を見据えた新幹線沿線地域でのPRの実施

# ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

## 目的

冬季間の短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保や、道内外や国外からの移住・定住の促進のため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行う。

また、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組むとともに、関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■ ShiriBeshi留学の実施 [町、民間、振興局]

概要：道内外の大学生等が、リゾート関連企業でのインターンシップや、地域の方々との交流（新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催）を通じて学ぶ人材育成プログラム。道内外から7名が参加  
 期間：令和4年2月7日～3月8日 ※インターンシップは、令和3年12月～令和4年3月で参加者により異なる。  
 場所：ニセコ町、倶知安町、岩内町

【 ShiriBeshi留学 】



インターンシップの様子



オンライン研修の様子

### ■ しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランの窓口の運営 [振興局]

概要：後志管内への就業を希望する日本人・外国人への面談・面接及びフォローアップを行う窓口の設置及びマッチング専用フェイスブックを運用し、管内企業への就職を支援した。求職者に対して面接同行やオンライン面接等を行い、農業、建設業、宿泊業、製造業、サービス業などの業種の企業求人とマッチングし、管内の雇用促進に寄与した。

実績：R3年度マッチング人数24名（日本人18名、外国人6名）



しりべしジョブフェアチラシ

### ■ しりべしジョブフェアの開催 [振興局]

概要：商工会議所等の関係機関と連携し、春季からの人手不足分野の求人を紹介する合同就業フェアを実施

日時：令和4年2月14日(月)～2月18日(金)

開催方法：オンライン

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内就職件数 (ハローワーク) 【件】	2,694 (R1)	2,130 (R3)	2,694 (R7)	79.1%
管内外国人住民数 【人】	3,447 (R2)	2,565 (R3)	5,200 (R7)	49.3%

## R4年度の主な取組

- 若者を対象としたリゾート関連企業でのインターンシップを通じて地域と交流するプログラム (ShiriBeshi留学) の実施 [町、民間、振興局]
- しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランの窓口運営、しりべしジョブフェアの開催
- 若年者向け合同企業説明会の開催

# 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト

## 目的

脱炭素型社会に向けた取組を積極的に進めている胆振地域が、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ■TEAMゼロカーボンいぶりの発足 [振興局]



#### ◀ TEAMゼロカーボンいぶり

発 足：令和3年2月28日  
 参加団体：胆振管内各市町、民間企業 等  
 概 要：「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、管内の企業、自治体、大学などと「TEAMゼロカーボンいぶり」を結成し、理解促進や機運醸成、水素の活用促進、震災復興・森林再生に向けた取組などオール胆振で推進。  
 令和3年度参加団体数：109団体等

### ■ゼロカーボンシティに向けた機運醸成の情報発信 [市町]



#### ◀ 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会の実施

期 間：令和3年10月14日  
 場 所：グランドホテルニュー王子  
 概 要：ゼロカーボンシティへの挑戦、地域の脱炭素化と地元産業振興の両立に向け、「苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」に「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を併合し、「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組し、地元の産官学一体となった取り組みを推進。

### ■高等学校等生徒及び教員を対象としたものづくり企業の見学会の実施 [振興局]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	2件 (R3)	10件 (R7)	20.0%
製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	1,619万円 (R1)	1,805万円 (R7)	89.7%
従業員数4～29人の事業所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	4,185人 (R1)	4,800人 (R7)	87.2%
電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数(室蘭運輸支局管内)	601台 (R1)	658台 (R2)	1,500台 (R7)	43.9%
新エネルギー導入量(発電設備量)	86.7万kw (R2)	89.0万kw (R3)	122.2万kw (R7)	72.8%
間伐の実施面積	6,590ha (H27～R1累計)	982ha (R3)	9,100ha (R3～R7累計)	10.8%

## R4年度の主な取組

- TEAM「ゼロカーボンいぶり」のネットワークを活用した情報発信やセミナーなどのイベントを開催し、機運醸成を図る [国、市町、民間、振興局]
- 「いぶり水素倶楽部」の結成、FCVの率先利用・カーシェアリング、水素エネルギー展示会の開催 [国、市町、民間、振興局]



# 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

## 目的

関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大の取り組みや地域の未来を支える人材の確保・育成や胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりの促進を図る。

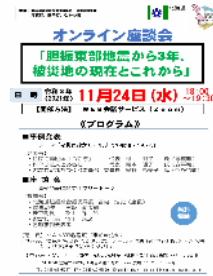
## これまでの主な取組・成果

### ■ 児童・生徒向けPR冊子の作成 [振興局]



◀ PR冊子「北海道いぶり五大遺産」  
 作成：令和4年3月17日  
 場所：胆振管内各市町、民間企業 等  
 概要：「洞爺湖有珠山ジオパーク」「アイヌ文化」「縄文遺産群」「むかわ竜」「炭鉄港」といった価値ある地域資源を「いぶり五大遺産」と位置付けて、その価値や魅力を発信するとともに子供たちの地域への愛着を高められるよう児童・生徒向けのPR冊子の作成。

### ■ オンライン座談会の開催 [振興局]



◀ 胆振東部地震から3年、被災地の現在とこれから  
 開催：令和3年11月24日  
 概要：北海道胆振東部地震から3年余りが経過し、全国的に震災の記憶の風化が懸念される中、被災地住民の元気な活動を発信することにより、地震の記憶や経験を次世代へ継承するとともに、全国の支援者への感謝や復興の加速化につなげていくという趣旨のもと、オンライン座談会を開催。

### ■ 管内ワーケーションPR冊子（いぶりクロスワーケーション）の作成 [振興局]

### ■ 管内の農畜産物を使用したおむすび「いぶり11」を札幌駅北口どさんこプラザにて期間限定販売の実施 [振興局]

### ■ 胆振の水産物を使用したお惣菜を提供する「いぶりお魚おそうざいフェア」を管内スーパーで開催 [振興局]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,618万人(R1)	948万人(R3)	1,794万人(R7)	52.8%
地域おこし協力隊の隊員数	53名(R2)	76名(R3)	59名(R7)	128.8%
食品工業の付加価値額	268億円(H30)	297億円(R1)	287億円(R7)	103.5%
新規就農者	98人(H28~R2累計)	21人(R3)	121人(R3~R7累計)	17.4%
新規漁業就業者	103人(H28~R2累計)	8人(R3)	113人(R3~R7累計)	7.1%
新規林業参入者数	34人(H27, H29, H31累計)	9人(R3)	35人(R3, R5, R7累計)	25.7%
新規高卒者の管内就職内定率	71.8%(R2)	70.7%(R3)	73.0%(R7)	96.8%

## R4年度の主な取組

### ■ 移住・交流フェア等出展による移住及びワーケーションのPR [振興局]

### ■ 胆振管内の特産品のPR及び販路拡大を目的に、札幌市内で「いぶりフェア」を開催 [振興局]

### ■ 被災木物産展の開催及び被災地域住民による緑化、植樹イベントの開催 [振興局]





# 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

## 目的

日高地域では、全国生産の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、コンブ、鮭（銀聖）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されている。また、人工林の大半を占めるカラマツ・トドマツが利用期を迎えている。

このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ●農林水産物の生産振興対策の推進

#### ■乳用牛共同育成施設の整備〔国、振興局、町〕

酪農作業の省力化が求められている中、日高キャトルセンター株式会社が、管内初の哺育育成センターを日高町に整備。

（畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業）



### ●強い馬づくりに向けた軽種馬生産

#### ■ホッカイドウ競馬との連携〔振興局、町、民間〕

市町村名を冠した地元協賛レースのとりまとめ支援やガイドブック配布等によるホッカイドウ競馬PRなどを実施。

また、R3年度には、川崎競馬場のオンラインイベントで協賛レース「ナナイロひだか特別」を実施。



### ●「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大

#### ■日高の豊かな海の幸フェス〔振興局、町、民間〕

厳しい状況にある水産業を応援し地域を盛り上げる取組として実施。

##### 【第1弾】

- ・日高の海の幸料理365日投稿チャレンジ  
日高の水産物を使った料理を毎日SNSで紹介（Twitter・Facebook・Instagram、楽天ブログ）



##### 【第2弾】

- ・日高のお魚スペシャリティ  
札幌市内のホテルでランチメニューを提供  
期 間：令和4年2月21日～3月4日の平日  
場 所：ホテルポールスター札幌1階レストラン「Dining&Bar 179」  
提供数：180食



評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	12,470円/kg (R3)	14,100円/kg (R7)	88.4%
軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,165頭/年 (R3)	5,900頭/年 (R7)	104.5%

## R4年度の主な取組

- R3.9の赤潮発生後、漁場環境を把握するため国の事業を活用して調査を実施〔国、振興局、町、民間〕
- 販路拡大やブランド力強化に向けどさんこプラザ札幌店やLUCKY山の手店で「ひだかフェア」を開催〔市町、振興局〕
- JRA・HBAとともに静内農業高校のマイスターハイスクールにおける授業の協力〔振興局、町、民間〕

# 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

## 目的

人材不足が課題となっている各産業へ人材確保・育成の対策を講じるほか、将来の人材を確保するため、教育機関と連携・協働を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指す。

## これまでの主な取組・成果

### ●一次産業をはじめとする各産業の担い手等の育成・確保



■短期滞在型農業体験モデル試行の取組〔振興局、町、民間〕

長期休暇の取得や、単一市町村が行う単一作物で実施している体験研修では、自身に適したものを選択することが困難という就農体験の課題を解消するため、短期間に管内の農業を広く体験できる研修内容のモデル試行を実施。令和3年は新冠町及び浦河町のプログラムに5名が参加。長期研修に移行した参加者もあり、担い手の定着促進が図られた。

実施日：令和3年10月4日～10月5日

### ●教育機関と連携・協働した人材の育成



■三笠高校との連携による日高昆布の利用促進〔振興局、民間〕

日高管内漁協組合長会の協力のもと、三笠高校へ日高昆布を無償提供。実習教材や調理部生徒が活動している「まごころきっちゃん」等で活用されるなど未来の調理師へ日高の水産物をPRした他、高校生が開発したレシピを道庁公式cookpadに掲載するなど知名度向上や消費拡大にも寄与する事業となった。

### ●移住・定住の促進に向けた住環境などの整備



■オンライン移住カフェ〔振興局、町、民間〕

オンラインを活用して日高地域の仕事や暮らしについて紹介するオンライン移住カフェを年3回実施。管内全町が参加した開催は当振興局初の試み。実施後移住をした方からとても参考になったとの声もあり、R4年度も継続して実施。

【実績】R3

- ・夏の暮らし編：令和3年8月27日  
参加者数17人
- ・秋の暮らし編：令和3年11月5日  
参加者数15人
- ・冬の暮らし編：令和4年2月18日  
参加者数34人

(参考) R4

- ・初夏の暮らし編：令和4年6月29日  
参加者数33人



## 主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規就業者数(農業)	14人(R1)	17人(R2)	25人(R7)	68.0%
新規就業者数(漁業)	11人(R2)	9人(R3)	14人(R7)	64.3%

## R4年度の主な取組

- 職員の兼業など一次産業の働き手確保を目指したナナイロひだかサポーター制度の創設〔振興局、民間〕
- 地元就職した若手へのインタビューを中心とした地元産業・企業紹介パンフレットの作成〔振興局、民間〕
- 日高管内への移住促進を目的とした移住相談会を東京都で開催予定〔振興局、町〕

# 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

## 目的

日高地域は、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパークのアポイ岳や、国立公園化が予定されている日高山脈襟裳国立公園、日高山脈から襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有している。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっている。

これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ●国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信

■春のひだかをPRする「ひだかSpringPremium」を開催 [振興局]



開催日：令和4年4月28日～5月31日  
 場 所：管内、オンライン  
 概 要：日高管内の周遊を促進する企画とオンラインでひだかの魅力を発信する企画を実施。  
 実 績：プレゼント企画の応募者数：約1,800人  
 特設サイト閲覧者数：約6,600人  
 SNSフォロワー増による発信力の強化

### ●豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘

■アポイ岳ジオパークにおけるジオツーリズムの推進 [振興局]  
 アポイ岳ジオパークをはじめとした日高山脈襟裳国立公園の写真を投稿するInstagramキャンペーンや、アポイ岳PR動画による地域の魅力発信。  
 実 績：Instagramキャンペーン投稿数：761回



### ●札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る

#### 広域観光の推進



振興局と各町、管内関係団体等が連携する、日高自動車道の新冠IC開通に向けた地域の情報・魅力発信事業。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、PRサイトを作成し、魅力発信及び地域事業者の支援に向けたオンライン物産展を実施したほか、オンラインを活用した販路拡大等に向けて、管内事業者とオンライン物販に係る課題やノウハウを共有する事業報告会を開催した。

期 間：令和3年10月15日～12月15日  
 実 績：サイト閲覧者数：約6,100人  
 販売額：1,573千円



#### 主な評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
宿泊客延数	230千人 (R1)	157千人 (R3)	266千人 (R7)	59.0%

## R4年度の主な取組

- 道庁赤れんが庁舎前庭で日高管内の魅力発信をおこなう物産展の開催 [振興局、町]
- 民間企業と連携した軽種馬の魅力発信と見学マナーの周知 [振興局、町、民間]
- 日高山脈襟裳国立公園の国立化に向けたフォーラムの開催 [振興局、町、民間]

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町の観光入 込客数	7,250千人 (R2)	集計中					7,468千人 (R7)	—
アイヌ文化等の地域 資源を活かした日胆 地域活性化プロジェ クト	胆振・日高地域への観光入込客数	1,040万人 (R2)	1,070万人					1,994万人 (R7)	53.7%
道内ジオパークの連 携による地域力向上 プロジェクト	ジオパーク構成市町への観光入込客 数	1,017万人 (R2)	979万人					2,130万人 (R7)	46.0%
縄文遺跡群を活用し た魅力発信と誘客促 進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人					1,371万人 (R6)	56.5%
	観光入込客数（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人					150万人 (R6)	68.0%
	観光入込客数（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人					1,764万人 (R6)	53.7%
	観光入込客数（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人					3,100万人 (R7)	50.9%
	多言語化など、縄文文化の理解促進 に向けて新たな取り組みを行った施 設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設					11施設 (R7)	90.9%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
未来技術の導入など による産業振興・担 い手確保プロジェク ト	空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,600ha					113,600ha (R7)	100.0%
	新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	59.5%					63.9% (R6)	93.1%
地域の歴史や資源を 活かした空知の魅力 発信プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」公式SNSの フォロワー数	6,522人 (R2)	10,101人					14,500人 (R7)	69.7%
	管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	852万人					1,278万人 (R6)	66.6%
	移住相談件数	574件 (R2)	777件					687件 (R7)	113.1%
空知と多様な形で関 わりを持つ人材創出 プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率 (再掲)	60.9% (R2)	59.5%					63.9% (R6)	93.1%
	移住相談件数（再掲）	574件 (R2)	777件					687件 (R7)	113.1%
	認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所					22カ所 (R7)	90.9%
石狩の若者の地元定 着促進と道外からの 人の呼び込みプロ ジェクト	新規大卒道内就職者の3年以内の 離職率	36.4% (R1)	34.6%					前年度より 改善 (R7)	—
	石狩地域の新規学卒・参入者の就 農者数	16人 (R2)	集計中					5年間(R3 ~R7)で延 べ80人増	—
	若年層（15~29歳）の首都圏への 転出超過数	3,352人 (R1)	2,400人					3,139人 (R6)	130.8%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト	観光入込客数	1,336万人 (R2)	1,577万人					3,100万人 (R7)	50.9%
	農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数 (R2～R6の5年間で新規登録20件以上)	12件 (R2)	8件 (累計20件)					累計20件以上 (R6)	100.0%
安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	36拠点					38拠点 (R6)	94.7%
	北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	139企業					204企業 (R7)	68.1%
自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト	協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	13回					17回 (R7)	76.5%
	石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	1,736 /1,800					毎年度設定	96.4%
	石狩地域の自主防災組織活動カバー率	61.6% (R2)	65.4% (84.4%)					全国平均値	77.5%
	石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	97団体					150団体 (R7)	64.7%

## 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト	新品種農産物（シャインマスカット）出荷量	2,520kg (R2)	3,077kg					6,000kg (R6)	51.3%
	新規就農者数	34人 (R1)	集計中					34人 (R7)	—
	管内製材・木材チップ工場における原木消費量	69,000m <sup>2</sup> (R2)	69,852m <sup>2</sup>					77,000m <sup>2</sup> (R7)	90.7%
	新規漁業就業者数	7人 (R2)	6人					9人 (R7)	66.7%
国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト	観光入込客数	2,142万人 (R1)	1,034万人					2,500万人 (R7)	41.4%
ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト	管内就職件数（ハローワーク）	2,694人 (R1)	2,130人					2,694人 (R7)	79.1%
	管内外国人住民数	3,447人 (R2)	2,565人					5,200人 (R7)	49.3%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
脱炭素社会を創造する 「いぶり」産業展開プロジェクト	道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	2件					10件 (R7)	20.0%
	製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	1,619万円 (R1実績)					1,805万円 (R7)	89.7%
	従業員数4~29人の事務所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	4,185人 (R1実績)					4,800人 (R7)	87.2%
	電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数（室蘭運輸支局管内）	601台 (R1)	658台 (R2実績)					1,500台 (R7)	43.9%
	新エネルギー導入量（発電設備容量）	86.7万kW (R2)	89.0万kW					122.2万kW (R7)	72.8%
	間伐の実施面積	6,590ha (H27-R1累計)	982ha					9,100ha (R3-R7累計)	10.8%



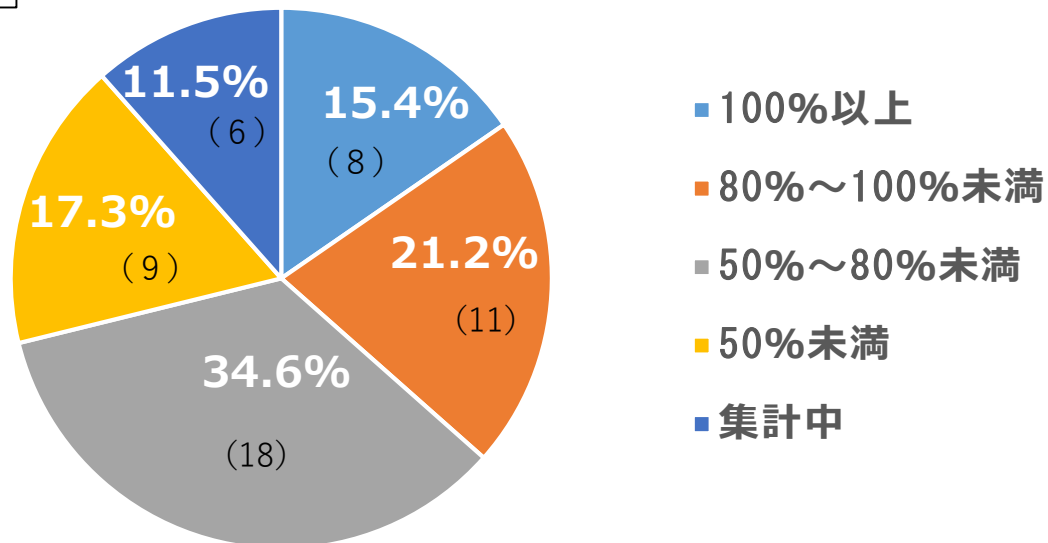
# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
住みたい・訪れたい 「いぶり」地域づくり プロジェクト	管内への観光入込客数	1,618万人 (R1)	948万人					1,794万人 (R7)	52.8%
	地域おこし協力隊の隊員数	53名 (R2)	76名					59名 (R7)	128.8%
	食品工業の付加価値額	268億円 (H30)	297億円 (R1実績)					287億円 (R7)	103.5%
	新規就農者	98人 (H28-R2累計)	21人					121人 (R3-R7累計)	17.4%
	新規漁業就業者数	103人 (H28-R2累計)	8人					113人 (R3-R7累計)	7.1%
	新規林業参入者数	34人 (H27, H29, H31 累計)	9人					35人 (R3-R7累計)	25.7%
	新規高卒者の管内就職内定率	71.8% (R2)	70.7%					73.0% (R7)	96.8%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	12,470円/kg					14,100円/kg (R7)	88.4%
	軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,165頭/年					5,900頭/年 (R7)	104.5%
「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト	新規就業者数（農業）	14人 (R1)	集計中					25人	—
	新規就業者数（漁業）	11人 (R2)	9人					14人	64.3%
「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	宿泊客延数	230千人 (R1)	157千人					266千人 (R7)	59.0%

評価指標全体



# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（空知地域）

- ・ 9つの評価指標のうち、数値が出ている8つの評価指標の中で、6つが進捗率90%を超え、そのうち3つが目標値を達成している。
- ・ 新規高卒者管内企業就職率は、ほぼ横ばいだが、高校生向けの地元企業合同説明会の開催や、企業見学その他就職支援を積極的に行い、目標達成に向けて取組を進めていきたい。
- ・ 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、そらち応援大使や食のアンバサダーと連携した空知の「食」の魅力を紹介するプロモーションや、フォロワー獲得に向けたキャンペーン等を通じた情報の拡散など、オンラインを効果的に活用した情報発信が功を奏し、順調に増加している。
- ・ 管内への観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、基準年の令和元年と比較すると、依然として大幅な減少となっていることから、広大な自然や密になりにくいアウトドア環境などの優位性を活かした新たな旅行スタイルの定着により、誘客促進に向けた取組を進めていきたい。
- ・ 認定こども園設置数は、現状維持となっており、市町それぞれの子育て支援事業や移住・定住の促進を進めていくことによって、目標値達成を目指していきたい。
- ・ 総括として、KPIの達成のためには、空知特有の資源や魅力を発信し、より広く知ってもらうとともに、観光で訪れるのみならず、地元定着・移住等をはじめとした、関係人口創出の取組推進が必要。  
実際に住んでみたいと思われるような暮らしの支援や、長く安心して住み続けられる支援、地元での雇用支援や企業誘致・ICT技術等による新たな担い手の確保など、さらに推進・充実を図る。

# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（石狩地域）

- ・ 12の評価指標のうち、進捗率が80%未満である指標が約33%、進捗率80%を超える指標が約42%となっており、3つの指標が目標値を達成。
- ・ 若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数については、改善が見られているものの、新型コロナウイルス感染症による影響もあるものと想定されることから、今後、取組を推進しながら、指標の推移を注視する必要がある。
- ・ 観光入込客数については、新型コロナウイルス感染症による影響が続いている。
- ・ 令和2年度～3年度の実績については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、やむなく縮小・中止等をせざるを得ない状況が続いていたが、令和4年度の実績にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向けた推進を図る。

# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（後志地域）

- ・ 7の評価指標のうち、「管内製材・木材チップ工場における原木消費量」は進捗率90%を超えた。
- ・ シャインマスクの出荷量は、栽培技術の改良等により、557 kg増加 【 2,520 kg (R2) → 3,077 kg (R3) 】
- ・ 新規漁業就業者数は、前年度とほぼ同水準で推移 【 7 人 (R2) → 6 人 (R3) 】
- ・ 観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、1,108 万人減少 【 2,142 万人 (R1) → 1,034 万人 (R3) 】
- ・ 管内就職件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、企業の募集人数が減少したため、564人減少  
【 2,694 人 (R1) → 2,130 人 (R3) 】
- ・ 管内外国人住民数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外国人帰国者が増加するとともに、国内への入国が制限されたため、882 人減少 【 3,447 人 (R2) → 2,565 人 (R3) 】
- ・ R4年度においては、主に以下の取組方向で進捗率の向上を目指す。
  - 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
    - ・ 生産者への技術支援、商談会の開催等を通じてワインや食のブランド力の向上を図る。
    - ・ 農林水産業就業者の確保のため、道内外の人材を対象にした就業体験等の支援事業を継続して実施する。
  - 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト
    - ・ 後志管内の観光資源の磨き上げや、MICE・教育旅行の誘致に向けたPRを実施することで、道内外からの観光客の増加を目指す。
  - ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト
    - ・ 就業希望者への窓口サポートの運営、就業フェアの開催等を通じて、道内外や国外からの移住・定住を促進する。

# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（胆振地域）

- ・ 行動制限、経済不況をはじめ、各種PRイベントの中止など、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数、次世代自動車の導入、一次産業への就業者数などが低い数値となっている。
- ・ 観光誘客や関係人口の拡大に向けてポータルサイトの作成による魅力発信や、各種イベントを通じた情報発信、教育旅行の誘致等、各種取組の継続に努める。
- ・ TEAMゼロカーボンいぶりのネットワークなどを活用して、情報発信やセミナーなどのイベントを開催するなど地域の産業の活性化に努める。
- ・ 学生を対象としたものづくり企業の現場見学会や管内農畜産物、水産物の販路拡大につながる各種の取組により胆振地域の産業を支える人材の育成・確保や食の魅力向上に努める。

## 分析・対応方向（日高地域）

- ・ 5つの評価指標のうち、2つが進捗率80%を超え、内1つが目標値を達成。
- ・ 新型コロナの影響により管内への観光入込客数は減少。R4は実地イベントを開催するなど対策を検討中。
- ・ 一次産業の新規就業者数は体験プログラム等を継続して実施する他職員の副業により人手不足解消に努める。
- ・ オンライン移住カフェや東京都での対面による移住相談会等により移住者や関係人口増加に努める。
- ・ R3は新型コロナの影響により中止になった事業があったため、感染対策を講じたうえで事業実施に努める。

## R 4 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・後志・胆振の3地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
空知スマート農業推進・人材強化事業	空知管内の基幹産業である「農業」において、人口減少に伴う労働力不足や農業機械によるCO2排出量の削減に対応していくため、Society5.0を実現する未来技術の活用促進及び人材育成・定着を推進し、空知農業の持続的発展を図るとともに、管内の地域活性化及びゼロカーボン空知に寄与する。	②
空知地域産業人材確保対策事業	空知の経済活力を活性化するため、人材が不足している製造業等の分野において、合同企業説明会等の実施により、新規学卒者などの若者の人材確保・定着に取り組む。	②
空知地域食品ブランド化・ワイン産地づくり強化事業	食のブランド化や空知産ワインの産地基盤づくりを推進するため、地場産品を活用した新たな商品開発による高付加価値化やワイン生産者への支援を行い、食やワインに携わる人材のレベル向上とコミュニティの構築を図るとともに、国内外へのプロモーション等による知名度向上と販路拡大を促進する。	②③
そらち流「安・近・炭」観光推進事業	札幌圏等の都市部と近い地理的優位性のほか、空知地域が有する様々な魅力ある地域資源を活かし、空知地域への誘客を促進するマイクロツーリズムや公共交通・自転車を活用した観光を推進し、交流人口の拡大とゼロカーボン北海道の実現に資する観光地づくりを推進する。	③

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

## R 4 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
オール空知観光資源活用誘客促進事業	炭鉄港、ワインや食、花といった空知地域ならではの地域資源を活かし、新型コロナウイルス感染症収束後の道外・国外客の旅行需要への対応を見据えながら、国内外への空知の魅力発信に取り組み、地域への誘客を促進する。	③
空知地域エゾシカ肉有効活用需要喚起事業	浦臼町に空知管内では初めての北海道認証を取得したエゾシカ肉処理施設が誕生した。需要喚起のため、管内に向けては、南空知の飲食店（カフェやファームレストラン等）を主な対象としてフェアを開催し、飲食店でのエゾシカ肉料理のレギュラーメニュー化を促すほか、大消費地の札幌圏で「空知産のエゾシカ肉」をPR・周知するために空知産の農産物を使用したエゾシカ肉料理の無料提供を行い、エゾシカの消費拡大を図るとともに、空知地域の魅力発信につなげる。	③
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出をめざす。	③④
住民の誇りを育む農村地域活性化事業（農村の誇りづくり事業）	空知管内の農村地域に暮らす人たちの誇りや地域づくりへの意欲を育むため、地域の歴史や文化などを再発見し、地域活動を担う主体形成や既存の活動団体の取組の助長を図る。	④

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト



## R 4 年度における石狩振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
いしかり・ライフstyle魅力発信・産学官連携事業	石狩管内で仕事だけではなく私生活についても豊かに暮らすイメージや地域情報の提供を産学官で連携して取り組み、管内ならではのライフスタイルの魅力の理解を浸透させ、若者の地元定着・人材還流を促す。	①
いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業【推】	札幌圏における道外への人口流出等の課題に対応するため、道や市町村をはじめとする関係機関の連携体制の下、管内ならではのライフスタイルの発掘や学生の定着促進に向けた取組を推進する。	①
いしかり農業Style受入地域づくり事業	石狩農業の将来を見据え、今後急増が見込まれる離農農家の資産（農地等）・技術を次の世代に繋ぐため、新規就農者を増加を目指し、地元の受入体制強化を推進し、就農研修生の石狩管内での就農増加を図る。	①
いしかりの食のブランド化推進事業	コロナ禍で高まり続ける地域食材への関心と食を通じた環境への意識の高まりから、新たな食の価値の拡大・定着を目指し、各市町村や地域ならではの食の魅力づくりやブランド化に向けた取組と国内外に向けた魅力発信を実施する。	②
「いしかりstyle」プラスワン観光推進事業	旅に「プラスワン」の価値を添える周遊ルートの構築や体験型観光を推進し、多様化する観光ニーズに対応可能で誰もが旅を存分に楽しめる「いしかり観光スタイル」を国内外に積極的にPRする。	②
石狩地域エゾシカ・ヒグマ・アライグマ対策事業	ヒグマの市街地出没による人的被害防止のため、管内市町村に対しICTを活用した監視体制に係る技術的支援を行うとともに市町村への技術の普及を促す。	④

※石狩地域が推進するプロジェクト

①石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	②石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト
③安心して子どもを生き育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	④自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト
⑤縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	

## R 4 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト	「しりべし産ワイン」を核として、官民が連携し、食や観光分野との結び付けを図るとともに、生産者への技術支援や地元の販路拡大、道内外へのプロモーションなどの取組を行うことにより、行政だけでなく、農業・漁業の生産者、経済・観光の各団体、ワイン関係者、地元の民間企業など地域全体が共通認識を持って、ワインや食のブランド力向上を目指す。	①
ShiriBeshi ニシン利用拡大推進事業	漁獲が増加傾向にある後志産ニシンについて、管内水産加工業の利用拡大を目指すため、成分分析や海外産との比較、加工向けとして好適な時期の把握等を調査し、得られた知見の周知を行う。	①
後志特産果樹生産・販売拡大プロジェクト事業	良質で収益性の高いシャインマスカットのブランド化や省力・低コスト栽培による加工用りんごの生産を拡大する取組を促進することにより、全道一の産地である北後志の果樹振興を図る。	①
次世代農業者育成・後志モデル ICT 省力化技術支援事業	新規就農者や若手農業者の活動を支援することにより、次世代の農業者を育成するとともに、GPSガイダンスシステムや自動操舵の活用、農業用ハウスでの環境モニタリングの検証などの取組を推進し、管内の経営形態に即したスマート農業のあり方の検証により後志モデルを構築し、省力化技術の普及を図る。	①
北森カレッジから後志への UI ターン促進事業	令和 2 年度に「北海道立北の森づくり専門学院」が開校することに伴い、後志地域から生徒を送り込むとともに、卒業生を後志地域の林業事業体等に受け入れるための取組を進める。	①
リゾート施設・公共住宅向け後志産木材活用促進事業	後志管内の森林から産出され、加工された地域材の利用を拡大するため、リゾート設計計画に関わる設計事務所やコンサルタント担当者、管内市町村建築担当者に対し、積極的な働きかけを実施する。	①

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

② 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

③ ShiriBeshi 多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

## R 4 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ニセコ山系ロングトレイル普及促進事業	アドベンチャーツーリズムに適したニセコ山系に、外国人に人気のロングトレイルコースを設定することで、多様な自然体験等をPRし、夏季の後志観光を推進するとともに、国立公園の利用者増加と適正な管理に資する。	②
ShiriBeshi路線バス利用促進事業	路線バスの需要拡大と持続的な利用定着を図るため、管内の住民や管外からの観光客に向けて、観光利用等のモデルルートや利用促進動画を作成し、動画視聴者へのキャンペーンも交えながらYouTubeやSNSで周知する。	②
ShiriBeshi自然と食を活かしたツーリズム推進事業	グリーンシーズンの観光コンテンツ強化のため、MTB(マウンテンバイク)セミナーの開催や動画を使った情報発信等、後志の自然と食の魅力を活かしたツーリズムを推進し、ウィズコロナにおける観光誘客につなげる。	②
ShiriBeshiグローバル・ハブ推進事業	リゾート地域で勤務する豊富な人材を後志地域で通年雇用化することで、新たなビジネスの創出や移住人口の拡大に寄与するとともに、市町村や各団体等と連携することにより、世界中の多様な人材（グローバル）×後志地域（ローカル）の中枢を振興局が担い、地域の持続的発展を目指す。	③
グローバル・シチズンシップ育成プラン	後志での仕事を通じてリゾートと地域の共存を考える後志版SDGsを学ぶプログラムであるShiribeshi留学を実施し、インバウンド先進地・多文化共生先進地・SDGs先進地である後志をPRし、Iターン・Uターンを目指す。	③

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
② 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト
③ ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

## R 4 年度における胆振総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2022－	「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、「共感で広げる。みんなで実践。」をコンセプトとし、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成、水素の利活用促進、震災復興・森林再生に向けた取組を通じて、オール胆振での取組を推進する。	⑤⑥
いぶり観光・教育旅行誘致促進事業	令和3年7月に世界文化遺産に登録された縄文遺跡群やウポポイなどの「いぶり五大遺産」をはじめとする地域資源を教育素材に活用して、道外からの教育旅行誘致促進のため交流プログラムを展開するほか、観光素材の商品化の促進を図るなど、関係人口、交流人口の増加を図る。	①②③④⑥
いぶり・食ブランド推進事業	胆振管内の食の魅力を向上させ、消費拡大を図るため、地域住民や道内外など幅広く「胆振の食」を発信する取組を行い胆振管内の食産業の発展や販路拡大に繋げる。	⑥
いぶり人材育成・産業活性化推進事業	胆振地域の経済を支える人材の育成・確保を図るとともに、就業環境の整備や経営の安定化へ向けた取組を進める。また、ゼロカーボン北海道の実現に向け、森林吸収源対策の充実・強化を図るための人材の育成・確保を図る。	⑤⑥
食を通じた共生社会推進事業	振興局がフードバンクへの食材提供の確保へ向けた取組を行い、食品ロス及び貧困対策並びに道のSDGs推進活動と関連した食材提供企業の参加意欲向上を図るとともに、地域住民の理解促進により子ども食堂等の取組が継続されるよう支援を行う。	⑥
「いぶり暮らし」プロモーション事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、3密を避けた地方暮らしが注目されており、これを胆振地域への移住・定住及び関係人口創出拡大を図るチャンスと捉え、将来的な移住に結びつく取組を推進する。	⑥
いぶり五大遺産等地域資源魅力発信事業	胆振地域への交流人口・関係人口の拡大を図るため、関係市町・団体との連携による、世界的な価値を有する「いぶり五大遺産」をはじめとした胆振管内の貴重な地域資源の魅力発信を通じて、地域創生に向けた取組を推進する。	①②③④⑤

### ※胆振地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト
③ 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト	④ 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト
⑤ 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト	⑥ 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

# R 4 年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
日高水産物生産持続対策	日高の水産業は、緩やかに減産傾向にあるが、その要因は資源状況、高齢化、魚価の低迷等、多岐にわたる。 中でも管内漁業者の半分以上が従事する日高昆布は、加工・流通まで裾野が広く地域産業としても重要であることから、安定生産に向けた取組を実施する。	③
ひだか「食」のブランド力強化事業	管内の食関連事業者と連携し、新型コロナウイルスの影響による消費動向の変化を捉えた販路拡大の推進及び商品開発・磨き上げを促進し「ひだか」製品のブランド力強化を目指す。	③
日高軽種馬産地活性化推進事業	管内では、少子高齢化などにより各業種で人手が不足している一方で、毎年、就職や進学等により300人以上の新規高等学校卒業生が管外に転出している状況。高校卒業後や大学等進学後の就職先として、管内企業を選んでもらえるよう、高校在学中から、地元にどのような産業があり、どのような仕事をしているのかを知ってもらうことを目的として、管内の産業を紹介するパンフレットを作成し、高校の進路担当部門、高校生や保護者に配布する。	③④
新規就農者育成・確保事業	日高が持つ「全国で唯一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、新規就農者の育成・確保に取り組み、地域の活性化を図る。	④
日高水産物流通対策	日高管内で水産業は基幹産業の一つであり、将来的に水産業を成長させていくためには、生産安定対策と同時に、消費拡大に向けた取組も必要である。そこで、管内外の教育機関に日高の水産物を提供し、消費拡大を図る。	④
ナナイロひだか人材確保事業	管内7町それぞれの独自色・個性を發揮しつつ、7色が集まった虹のようにこの地域が一体的に連携・協力して、管内で様々な分野で活躍する人材を確保する取組を進める。	④

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト
③ 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	④ 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	

## R 4 年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
地元就業促進支援事業	日高管内の基幹産業である軽種馬生産について、持続可能な生産体制づくりが必要なため、軽種馬生産の構造改革を進めるとともに、ホッカイドウ競馬の支援のほか、「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献する馬産地日高の推進により、持続可能な地域産業の振興を図る。	④
ひだか！元気!!応援!!!プロジェクト	日高地域の活性化に向けて、発信力の高い人物や人気アニメキャラクターとコラボした魅力発信や観光振興を行うとともに、ゼロカーボンエリアとしての芽出しを図るための機運醸成を行い、地域を元気にする取組を推進する。	④⑤
日高山脈襟裳国定公園及びアポイ岳ジオパークの魅力発信事業	日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定の動きに合わせ、環境保全や利活用を推進するとともに、アポイ岳ジオパークにおけるジオツーリズムの推進などにより、地域の活性化を図る。	⑤
日高アイヌ文化振興支援事業	漫画「ゴールデンカムイ」のヒットや民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業したことなどにより、老若男女・国内外を問わずアイヌ文化の魅力を発信する絶好機を迎えていることから、アイヌ文化の魅力を広く発信することにより、「北海道・日高アイヌ文化」を軸とした地域づくり、交流人口と関係人口の増加を目指す。	⑤
7towns, colors HIDAKA 観光知名度向上事業	ひだか地域の観光振興における課題である「観光地としての知名度不足」を解消し、交流人口の増加を図るため、管内各町や関係団体等と連携し、地域資源を活用した地域の魅力を体感できる観光メニューの開発や広域的な観光誘客の取組を図るとともに、地域の魅力を道内外に向けて効果的かつ戦略的に発信する。	⑤
オールひだか魅力発信推進事業	高規格幹線道路日高自動車道新冠IC（以下、「新冠IC」）開通に向けて、広域的な取組を行い、地域の気運を醸成するとともに、地域資源の活用促進や地域の魅力向上と発信力強化に向け、国や日高管内各町、関係機関等が連携してプロモーション活動などを実施することにより、管内観光入込客数の増加を図る。	⑤

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト
③ 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	④ 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	